

ニュースヘッドラインを毎日配信中!

日刊CARGOメルマガ登録は

日刊CARGO

検索

見舞金を実施し、寄せられた意見も参考に早期に最終改正案を固める考え。  
通関業法の改正は、「輸出入申告書の自由化」とともに10月の施行を予定しており、既に法改正や政省令の整備が終わっている。基本通達では法改正に伴って税関や通関業者などが対応すべき業務上の変更点などが示されている。  
改正案で示されたのは、①暴力団排除条項への対応 ②AEO通関業者の営業所新設の届け出手続き③料金の指示④業務改善命令⑤権限の委任⑥その他所要の改正（営業区域制限と船始調整事項に関する規定の廃止、在宅勤務の規定や報告書様式の簡素化など）。  
の大きさは6点についての詳細、多くは既に法改正や政省令の改正で示されているのだが、具体的な規定の中身や手続きの方法のほか、業法改正に伴う法令の変更点などが示された。

密性を確保する観点などが勤務場所の対象は主に在宅勤務を行う通関士などの自宅を想定しているように、在宅勤務を行いたい通関士などは、氏名と自宅の住所などを示す必要があり、延べ床面積3000平方メートルの冷凍・冷蔵倉庫が立地している。スライスコーク、キャベツ、スイカ、冷凍ソーキウ、サー果汁、塩モクなどと同施設に一次保管して、リーフアークンテナで輸送するケースが増えていた。また東京、関西、韓国の水族館向けに、沖縄産の熱帯魚を活魚車で本都府から関係する案件もある。社会実験の関係者は「この熱帯魚は各地の水族館で人気があるため、今後も輸送量は増える見通し」としている。

また、AEO通関業者は届け出によって営業所を新設できるようにするが、この手続き方法も示した。関税局では7日から来月8日まで、電子メール（mailto:seisaku@nita.go.jp）で改正案に対する意見を受け付け、電話による意見提出は不可で、日本語のみ対応。意見に対する個別対応はせず、後日に公表する場合がある。

## 本部港発の輸送品目に広がり

沖縄の農水産品に加え、静脈貨物も



2014年度から始まった沖縄本島北部の本都府と東京・阪神間をそれぞれ結ぶフェリー・RO-RO定期航路を利用した社会実験で、本都府発の輸送品目が広がりを見ている。主な貨物は沖縄本島北部で生産されたカボチャ、スイカ、シークワーサーなどの農産物や、モス、ビール、泡盛、もうみ酢、ジュース、パンなど、沖縄の熱帯魚を輸送する活魚車、建機・車両、切花など、足元では焼却灰などの静脈貨物の輸送の引き合いも増えているように見えている。

同7台を積載できる「+8」の改良型だ。トレーラー部分が2層構造となっており、荷台の上部には96インチパレット4台もしくはLD3コンテナ9台を積載できる。下部にはLD3コンテナ5台、もしくはLFPコンテナ2台とLD3コンテナ1台、あるいはALFPコンテナ1台（+LD3コンテナ1台とLD3コンテナ1台を積載できる）を積載できる。上段部へのコンテナ搭載のためにパワーゲートを搭載しているほか、ベルトコンベヤーにより、上段部の移動を自動化している。貨物上層の状況に合わせて仕様の違いがあり、現行の上層体制での運用が可能だ。1日の運行開始では羽田一成田間をア

川崎市港務局 17年度予算案 一般会計で34%減の81億円 荷捌き地の整備推進  
川崎市は6日、2017年度予算案を発表した。港務局関連では、一般会計で前年度比33.6%減の81億1890万円、港湾整備事業特別会計で25.9%減の23億6005万円を計上した。臨港道路東扇島水江町線と東扇島水江町線（以下、東扇島水江町線）の整備推進については、一般会計で33億6990万円、港湾整備事業特別会計で3億11万円を充てた。国内外で荷主向けのセミナーや中国・東南アジアの新規航路開設と既存航路の安定化に向けたポータルサイトの整備や航路誘致に向けた予算を確保した。

## 日本航空 平野ロジの「+8」導入 羽田一成田間で運行開始

日本航空が導入した平野ロジシステムのセミトレーラー車「+8」が羽田一成田間で運行を開始した。運行開始の初日には、日本航空の山村執行役員、貨物郵便本部長が羽田から成田の走行に同乗。山村執行役員は「羽田空港の就航便数が増えることで、羽田一成田間の転送需要も増加してきている。その中で、一度に多くのULDを搭載できる平野ロジシステムのセミトレーラーは非常に魅力的だ。協力して取り組んでいきたい」と述べた。



「+8」が運行を開始した（写真は成田空港の第5貨物ビルにて）



平野ロジシステムの「+8」は大型トラックよりLD3コンテナを8台多く搭載できるトレーラー。同7台を積載できる「+7」の改良型だ。トレーラー部分が2層構造となっており、荷台の上部には96インチパレット4台もしくはLD3コンテナ9台を積載できる。下部にはLD3コンテナ5台、もしくはLFPコンテナ2台とLD3コンテナ1台、あるいはALFPコンテナ1台（+LD3コンテナ1台とLD3コンテナ1台を積載できる）を積載できる。上段部へのコンテナ搭載のためにパワーゲートを搭載しているほか、ベルトコンベヤーにより、上段部の移動を自動化している。貨物上層の状況に合わせて仕様の違いがあり、現行の上層体制での運用が可能だ。1日の運行開始では羽田一成田間をア

羽田一成田間を走行する「+8」上段部へのコンテナ搭載のためにパワーゲートを搭載しているほか、ベルトコンベヤーにより、上段部の移動を自動化している。貨物上層の状況に合わせて仕様の違いがあり、現行の上層体制での運用が可能だ。1日の運行開始では羽田一成田間をア

ヤンミン10・12月決算 売上高5%増 市況底打ちで  
台湾船社ヤンミン・マリントランスポートによると、2016年第4四半期（10～12月）の売上高は前年同期比5.2%増の31.1億5847万台湾ドルと増収に転じた。昨年12月は大幅な増収となっており、東西航路を中心に市況の底打ちが鮮明になっている。

同7台を積載できる「+8」の改良型だ。トレーラー部分が2層構造となっており、荷台の上部には96インチパレット4台もしくはLD3コンテナ9台を積載できる。下部にはLD3コンテナ5台、もしくはLFPコンテナ2台とLD3コンテナ1台、あるいはALFPコンテナ1台（+LD3コンテナ1台とLD3コンテナ1台を積載できる）を積載できる。上段部へのコンテナ搭載のためにパワーゲートを搭載しているほか、ベルトコンベヤーにより、上段部の移動を自動化している。貨物上層の状況に合わせて仕様の違いがあり、現行の上層体制での運用が可能だ。1日の運行開始では羽田一成田間をア

川崎市港務局 17年度予算案 一般会計で34%減の81億円 荷捌き地の整備推進  
川崎市は6日、2017年度予算案を発表した。港務局関連では、一般会計で前年度比33.6%減の81億1890万円、港湾整備事業特別会計で25.9%減の23億6005万円を計上した。臨港道路東扇島水江町線と東扇島水江町線（以下、東扇島水江町線）の整備推進については、一般会計で33億6990万円、港湾整備事業特別会計で3億11万円を充てた。国内外で荷主向けのセミナーや中国・東南アジアの新規航路開設と既存航路の安定化に向けたポータルサイトの整備や航路誘致に向けた予算を確保した。